

横浜市とパシフィコ横浜の協働事業「みなとみらい地区街路灯フラッグ」を使った
みなとみらいを見て・歩いて・楽しむ フラッグ PR 企画

「横浜開港150年のいまむかしー森日出夫の見つめる風景と横浜錦絵」開催

みなとみらいの街を彩り、横浜開港 150 周年をアピールします！

2007年12月22日(土)「横浜開港150年のいまむかしー森日出夫の見つめる風景と横浜錦絵」と題し、横浜市とパシフィコ横浜は、協働事業として取り組んでいる「みなとみらい地区内広告付き街路灯フラッグ事業」の普及のため、初の試みとしてPRフラッグの掲出を実験的に実施します。

歴史を感じさせるハイカラな横浜錦絵や現在の横浜を写した風景写真を、203枚のフラッグを使ってみなとみらい地区の主要エリアに掲示するもので、みなとみらいの街の賑わい作りおよび開港150周年のPRに寄与できるよう、来春まで実施する予定です。

特に、今回使用される写真は、横浜の写真家 森日出夫氏の作品で、みなとみらいの夜景や港の美しい風景など143点もの素晴らしい写真を一同に見ることができる貴重な機会となっております。写真は全て一点一点異なるため、見ていくうちに、赤レンガ倉庫や日本丸、大さん橋、山下公園など、横浜の主要観光スポットを巡ることができる形になっています。横浜・みなとみらい地区を訪れる方々に、潮風を感じる街の散策を楽しみながら、作品を見て、歩いて、横浜の今と昔を目と体で感じていただく企画となっております。

【開催概要】

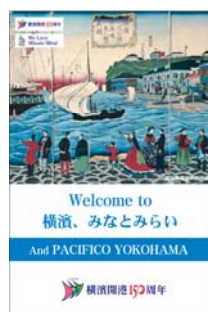
■会場 みなとみらい地区内の主なフラッグスペース
桜木町駅前広場、動く歩道、自動車道、大さん橋入口、臨港線プロムナード、
国際大通りA、クイーンズ橋、パシフィコ横浜プラザ

■期間 2007年12月22日(土)～2008年春頃

■内容 街路灯フラッグを使用した実験的PRフラッグ掲出
「横浜開港150年のいまむかしー森日出夫の
見つめる風景と横浜錦絵」の開催

■料金 無料

■連絡先 パシフィコ横浜 総合案内
TEL 045-221-2155(8:30～18:00)



■ホームページ <http://www.pacifico.co.jp>

■主催 横浜市、パシフィコ横浜

■協力 財団法人横浜開港 150 周年協会、アマノスタジオ

みなとみらい地区内広告付き街路灯フラッグ事業 とは

みなとみらい地区には、街路灯フラッグを掲出することができるエリアが13ヶ所あり、その総枚数は、640枚となります。街路灯フラッグは、横浜市の道路局・港湾局の施設であります。2005年7月、横浜市行政運営調整局による新しい広告事業として、パシフィコ横浜との協働事業化をいたしました。従来の告知・誘導目的に加えて、この指定されたエリアでは、広告目的で利用できる媒体へと仕組みを変えております。その一括申請・販売の窓口をパシフィコ横浜が担当しております。

【参考料金(2週間・税別)】 ※製作費・取付撤去費を除く

- ・動く歩道 48枚 媒体料 985,800円
- ・汽車道 20枚 媒体料 565,500円

【広告付き街路灯フラッグ販売窓口】:

パシフィコ横浜事業部 フラッグ・広告担当 近藤
TEL 045-221-2124 FAX 045-221-2136
kondoh@pacifico.co.jp



【対象エリア】

桜木町駅前広場	16	さくら通り	48	大さん橋入口	32
動く歩道	48	けやき通り	56	クイーンズ橋	24
国際大通りA	52	いちよう通り	68	新高島駅前	46
国際大通りB	44	汽車道	20	海上防災基地	8
国際大通りC	50	臨港線プロムナード	66		



今回の掲出場所は表中の赤字部分、左図の赤い部分となります